

2022.10月 女性チャレンジ応援拠点だより

コラム

「ものにする！チャレンジ」



9月は「十五夜」の頃でも真夏の気温が続き、秋はいつかいつかと待っていましたが、ようやく日中でも秋の風が感じられるようになりました。日も短くなり、「秋の夜長」が進みます。

10月になり『チャレンジ再発見一思いのほかあなたを拓くアプローチ』も後半に入りますが、先月の結びにご紹介した『乗り越える方法を考えなさい』（緒方貞子）は、ずっと心にとめていきましょう。チャレンジは始めることも大変ですが、続けるのはもっと大変。道のりは長く、軋轢や葛藤、ハードルやトラブルが、程度の差はあれ、付いて回ります。でも、乗り越える方法を考え、実行する度に自分の才覚が引き出され、磨かれていきます。チャレンジを〈ものにして〉、未来の自分に誇れる自分を拓いていきましょう。

ところでチャレンジの道のりには当然、歓喜する出来事、思いがけない好機も訪れます。時にはチャレンジして早々に幸運（と自分では思える）出会いや展開があるものです。そこで、今月（おそらく来月も）は「眼力利かせ、姿勢保ち、〈ものにする〉チャレンジ」です。

例えば、活動への協力者が現れる、知り合いに実力者を紹介できるという人がいる、ミニコミ誌から取材の打診がある等、さまざまなことが想定されます。どれもラッキー！かもしれませんが、はたして、そのままラッキーに事が運んでいくでしょうか。そうとは限りません、いえ、むしろ用心した方がよいのです。

特にチャレンジ早々のアマチュア段階では、勤の働きや目利きの力がまだ十分養われていないことが多く、時には〈ぬか喜び〉で終わることもあります。

そして、ラッキーなまま事が運んだとしても、それが気の緩みや緊張感の低下につながりやすいのです。すぐに弊害が出ることはありませんが、一定時間すぎた頃に出てきます。例えば、ラッキーにも協働先に出会い、活動が続ける中で、本来なら適切なタイミングで自分の方から進捗状況を伝えないといけないのに、先方から問い合わせの連絡が入る、というようなことです。

チャレンジの草創期は孤軍奮闘している最中ですから、協力を買って出てくれる人が現れると、それだけで勇気がわいてきます。「時間も空いているし、いいことをやっついそうだし、わたしでよければ手伝いますよ」と言ってもらって、本当に有り難い気持ちになります。

こういう場合、案外相手は旧知の人ではありません。旧知ならお互いに自分の世界があるとわかっているので、あまり〈現場〉には立ち入らないものです。商品があるなら、それを購入するとか、催しなら、それに参加するとか、積極的に口コミするとか、そういうカタチで後押しするものです。

ではどういう人でしょう、そしてどういう展開が想定できるでしょう。それは次回に続けるとして、『女性チャレンジ応援拠点』は、いつもみなさんのチャレンジを見守っています。スタッフ一同、ご利用をお待ちしております。

女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐 5-6-25 クレオ大阪中央 4階
電話&ファックス：06-7659-9640
メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp
運営：大阪市立男女共同参画センター中央館

*10/18(火)は空調設備改修工事のため臨時休室になります。

※開室日

※日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休室

火	水	木	金	土
10:30 ? 12:30	18:00 ? 20:00	13:00 ? 15:00	10:30 ? 12:30	13:00 ? 15:00

※開室時間内は自由に出入りいただけます。
お気軽にお立ち寄りください。

